



2020年2月期 第2四半期 決算説明資料

2019年10月15日

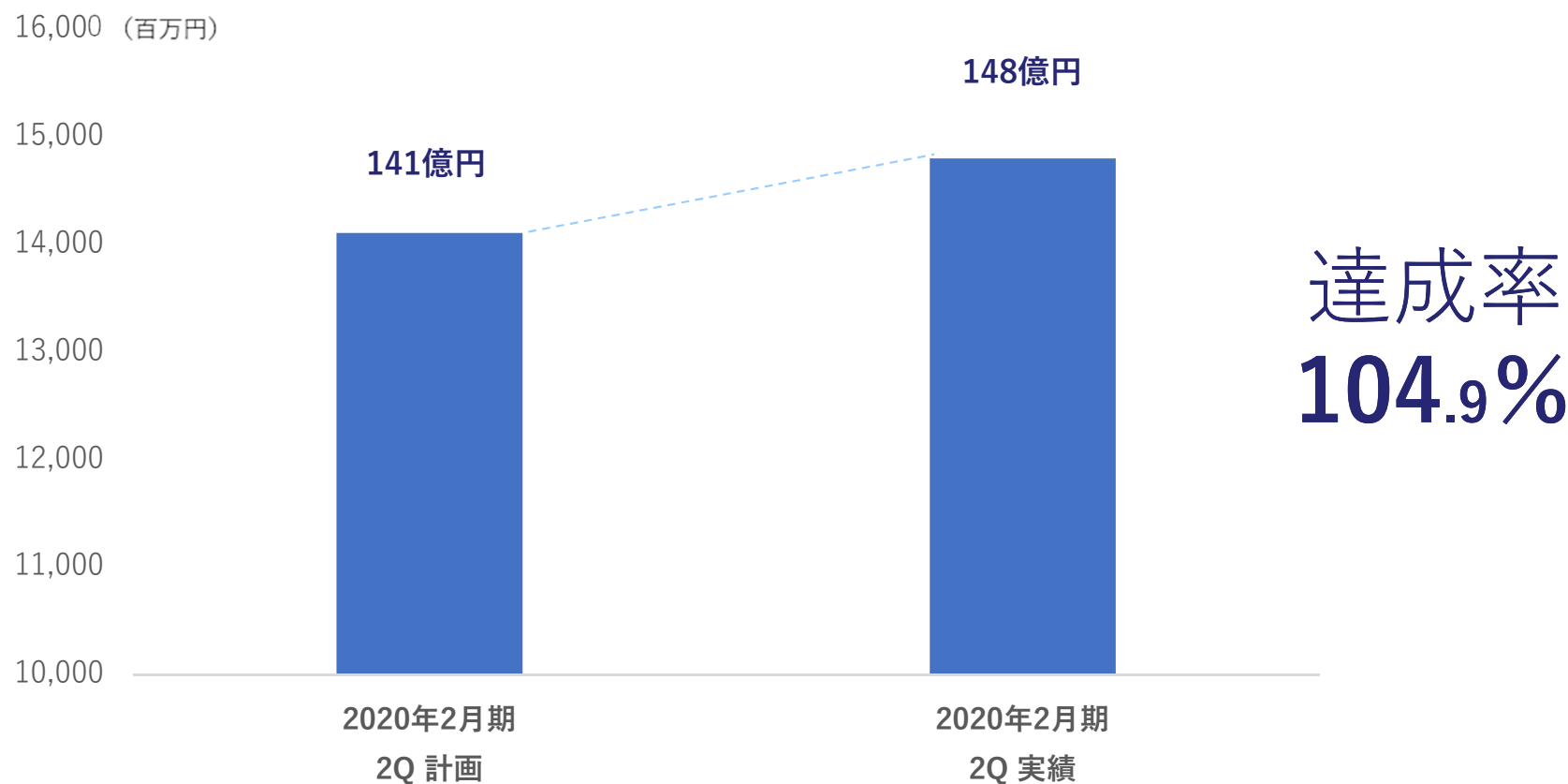
株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス
(証券コード：2884)

- I. 2020年2月期 2Q決算ハイライト
- II. 2020年2月期 2Q決算概要
- III. トピックス
- IV. 事業戦略
- V. Appendix

1. 2020年2月期 2Q決算ハイライト

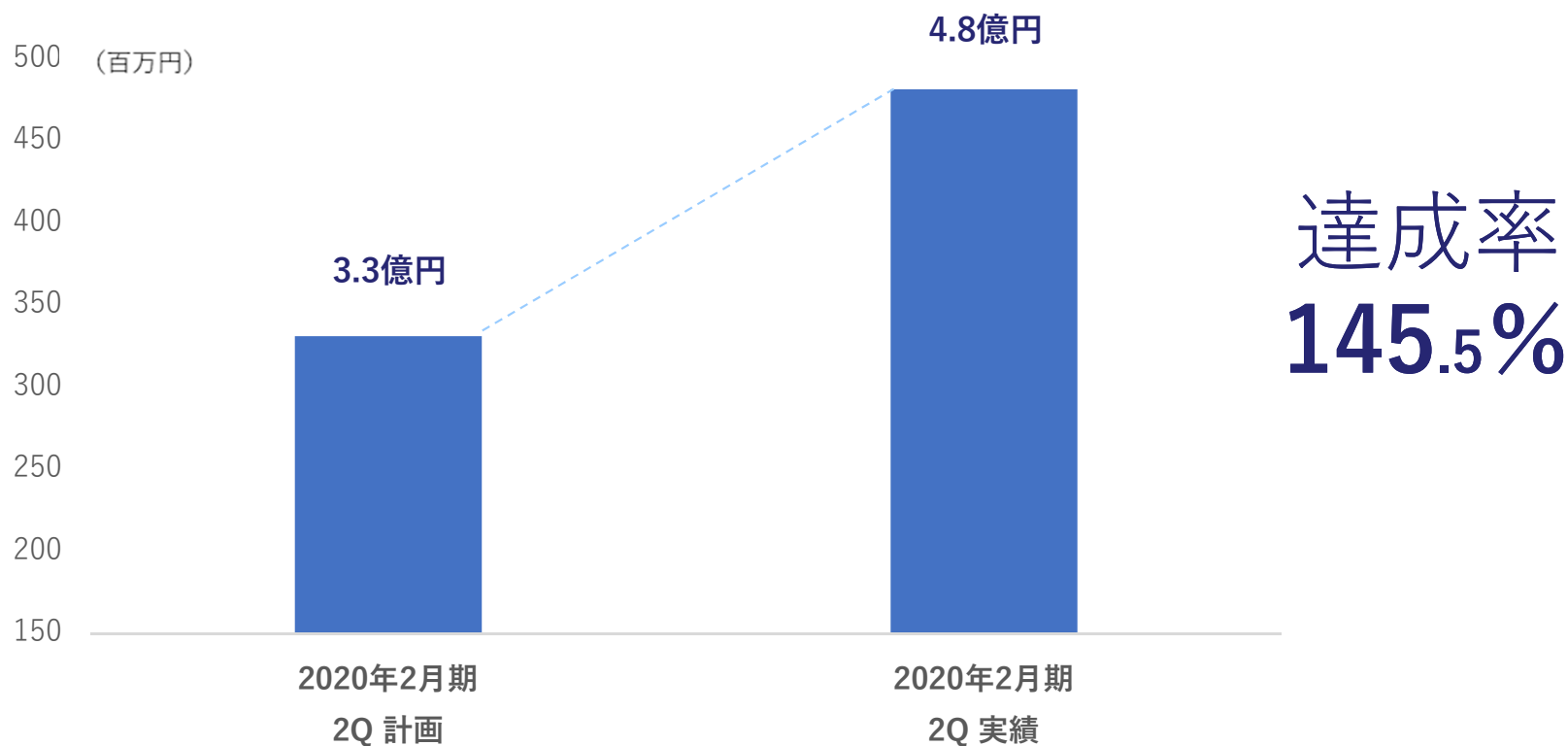
売上高

売上高は、M&Aにより当期に新たにグループ化した2社の貢献等により、達成率**104.9%**となる



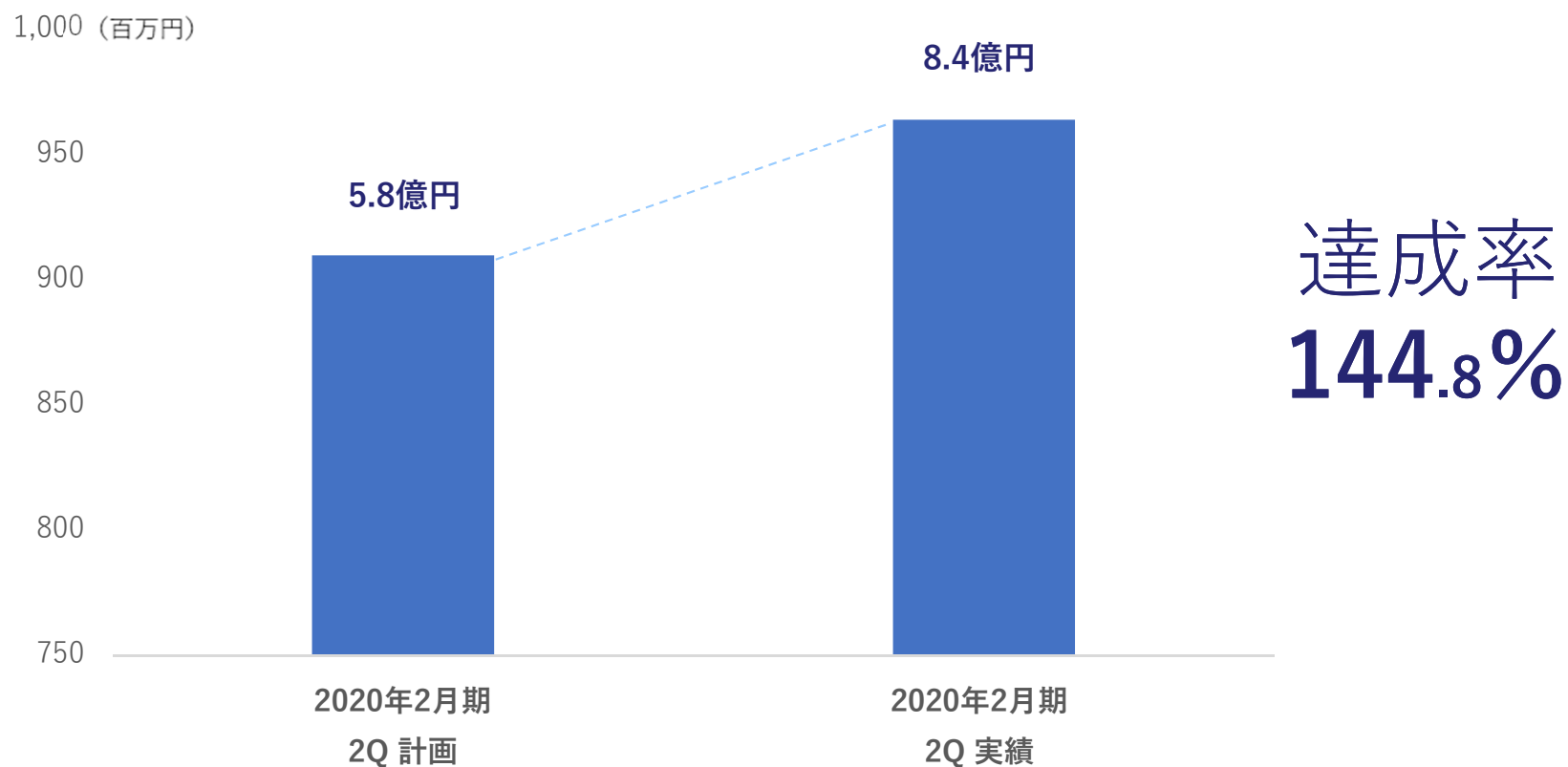
営業利益

営業利益も、M&Aにより当期に新たにグループ化した2社の貢献等により、達成率**145.5%**となる



EBITDA

EBITDAも同様の理由により達成率**144.8%**となる



(注) EBITDAは、営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + M&A取得費用で算出しております。

2020年2月期 2Q決算ハイライト

2020年2月期2Qは、一部子会社において原材料価格の高止まりが継続しているものの、M&Aで新たにグループ化した2社が貢献したことにより、当初見込んでいた業績見通しを上方修正。

	2020年2月期 2Q <small>(単位：百万円)</small>		
	予 想	実 績	達成率
売上高	14,109	14,802	104.9%
営業利益	331	481	145.5%
経常利益	338	504	149.0%
当期純利益	177	232	130.5%
M & A取得費用除く 営業利益	331	552	166.7%
M & A取得費用除く EBITDA	584	846	144.8%

(注) EBITDAは、営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費 + M&A取得費用で算出しております。

2019.10 業績修正



売上高 ⇒ 増収

営業利益 ⇒ 予想より45.5ポイントアップ

II. 2020年2月期 2Q決算概要

前年比では、売上高129.4%、営業利益303.8%、当期純利益176.2%となる。

	2019年2月期 2Q		2020年2月期 2Q		前年比	(単位：百万円)
	構成比		構成比			
売上高	11,438	100.0%	14,802	100.0%	129.4%	【売上高】 ✓ M&Aにより前期グループ化したSIN HIN、当期グループ化したPACIFIC SORBY、森養魚場が寄与
売上総利益	2,534	22.2%	3,112	21.0%	122.8%	
販管費	2,376	20.8%	2,630	17.8%	110.7%	【経常利益】 ✓ 一部子会社において原材料価格等の高止まりが続いているものの、上記理由により増益となる
営業利益	158	1.4%	481	3.3%	303.8%	
経常利益	201	1.8%	504	3.4%	249.6%	【当期純利益】 ✓ 上記理由による
当期純利益	131	1.2%	232	1.6%	176.2%	
M&A取得費用除く EBITDA	494	4.3%	846	5.7%	171.2%	

(注) EBITDAは、営業利益+減価償却費+のれん償却費+M&A取得費用で算出しております。

売上高の状況（セグメント別）

当期グループ化した2社および前期グループ化した会社が寄与し、増収となる。

	2019年2月期 2Q	2020年2月期 2Q	前年比	(単位：百万円)
製造事業セグメント	8,897	10,330	116.1%	
楽陽食品	2,479	2,528	102.0%	【M&A】 ✓ 新たにグループ化したPS、森養魚場、SIN HIN（前期10月）が寄与
オーブン	1,230	1,278	103.9%	
純和食品	997	1,060	106.3%	【純和食品】 ✓ 海外輸出及びNB商品の販売が好調に推移したことにより増加
エスケーフーズ	1,834	1,802	98.3%	
JSTT	706	647	91.7%	【JSTT】 ✓ 主力店舗の改装、移転により売上が一時的に減少
その他（8社）	2,072	2,238	108.0%	
Pacific Sorby 森養魚場	—	641 401	—% —%	
販売事業セグメント	2,540	4,472	176.0%	
ヨシムラ・フード	2,764	2,402	86.9%	【ヨシムラ・フード】 ✓ 内部取引の見直しをおこなったため減少
ジョイ・ダイニング・P	440	507	115.1%	
Sin Hin	—	1,705	—%	
合 計	11,438	14,802	129.4%	

※個別の業績につきましては、セグメント間の取引が含まれているため、各個別業績の合計とセグメント別の数値は一致いたしません。

売上高が伸長したことによる変動費等の増加及びグループ拡大に伴う増加。

	2019年2月期 2Q	2020年2月期 2Q	前年比	(単位：百万円)
販売費及び一般管理費	2,376	2,630	110.7%	
運搬費	821	888	108.2%	✓ 子会社増による増加
給与及び手当	491	494	100.6%	
貸倒引当金繰入額	△1	△2	—	
その他	1,065	1,250	117.4%	

貸借対照表

M&Aによる拡大に伴い資産・負債が増加。また設備投資をおこなったことにより有形固定資産が増加。

	2019年2月期	2020年2月期2Q	前期末増減額	(単位：百万円)
流動資産	9,643	11,514	+1,871	【流動資産】
現金及び預金	2,085	2,809	+724	✓ グループ会社増加に伴う増加
売掛金	3,525	4,495	+970	
たな卸資産	3,766	3,986	+220	
その他流動資産	267	224	△43	
固定資産	5,537	8,148	+2,611	【固定資産】
有形固定資産	2,312	3,098	+786	✓ 設備投資に伴う資産増加 ✓ PS及び森養魚場取得に伴うのれんの増加
無形固定資産	2,794	4,254	+1,460	
その他固定資産	430	796	+366	
資産合計	15,180	19,663	+4,483	
流動負債	7,248	9,015	+1,767	【流動負債】
買掛金	2,298	2,892	+594	✓ グループ会社増加に伴う増加 ✓ 短期借入金の増加
短期借入金	2,720	2,997	+277	
1年以内返済予定長借	835	1,232	+397	
その他流動負債	1,395	1,894	+499	
固定負債	3,336	5,582	+2,246	【固定負債】
長期借入金	3,128	5,216	+2,088	✓ M&Aに伴う長期借入金の増加
その他固定負債	208	366	+158	
負債合計	10,585	14,598	+4,013	
純資産	4,595	5,064	+469	【純資産】 ✓ 当期純利益等の計上
負債・純資産合計	15,180	19,663	+4,483	

2020年2月期通期業績見通し

2Qは予算を超過したものの、**森養魚場の季節性や原材料価格の動向に不確定要素があること等**を勘案し、現段階では通期業績見通しを据え置き。

	2020年2月期 2Q		2019年2月期 通期		2020年2月期 (業績見通し)		前年比	(単位：百万円)
		構成比		構成比		構成比		
売上高	14,802	100.0%	23,716	100.0%	28,181	100.0%	118.8%	
営業利益	481	3.3%	354	1.5%	645	2.3%	182.0%	
経常利益	504	3.4%	420	1.8%	660	2.3%	157.1%	
当期純利益	232	1.6%	263	1.1%	341	1.2%	129.5%	
M&A取得費用除く EBITDA	846	5.7%	963	4.1%	1,165	4.1%	120.9%	

(注) EBITDAは、営業利益+減価償却費+のれん償却費+M&A取得費用で算出しております。

III. トピックス

2019年5月13日

事業拡大に向けた戦略的パートナーとして、発行済株式の70%を取得

会社概要

- 社 名 PACIFIC SORBY PTE. LTD.
- C E O Mr. Alvin (LAU SEOW HUA)
- 所 在 地 191 Pandan Loop Singapore
- 設 立 2014年12月
- 資 本 金 300,000SGD
- 売 上 高 2,665百万円 (円換算概算)
- 事 業 内 容 水産品の加工販売

M&A概要

- M&Aに至った理由
事業拡大に向けた戦略的パートナーを探していたため
- M&A後の成長戦略
 - ✓ Sin Hinの販路に対し、Pacific社の商品を販売することによる売上の増加
 - ✓ Pacific社の持つホテルに対する販路を活用し、JSTTの寿司の販売及び当社グループ商品の販売

業績推移

単位：百万円（1 SGD = 82円換算）

	2016/11期	2017/11期	2018/11期
売上高	2,136	2,487	2,664
税前当期純利益	148	177	321
当期純利益	120	149	269

- ✓ 当社の2020年2月期決算には、9か月分の損益を取り込みます。
- ✓ 本件は当社グループにて発掘した案件であるため、M&A業者へのフィーの支払いがなく、取得費用約10百万円を2020年2月期決算に計上しております。
- ✓ 約11億円（概算）の“のれん”が発生する見込みであり、15年間の均等償却を行う予定です。現時点の概算額であり、今後変動する可能性があります。

商品等



主力商品

2019年6月3日

創業社長の後継者不在により、弊社が株式を譲り受ける。

会社概要

- 社名 株式会社森養魚場
- 代表者 代表取締役 北堀 孝男
- 所在地 岐阜県大垣市墨俣町墨俣793
- 設立 2019年3月
- 資本金 30百万円
- 売上高 778百万円
- 事業内容 鮎養殖事業、水産加工品の製造・販売

M&A概要

- M&Aに至った理由
 - 創業社長に後継者がいないことによる売却
- M&A後の成長戦略
- ✓ 弊社グループが保有する、日本全国及びシンガポール等アジアの販路を活用した売上の増加
- ✓ 弊社グループの経営管理能力や資金力を活用した、更なる養殖技術の発展及び養殖管理の効率化

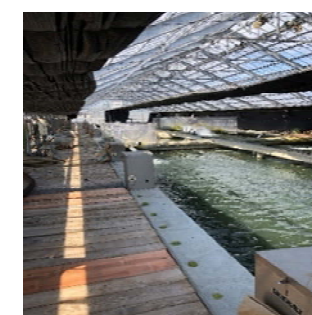
業績推移

(ご参考) 鮎養殖事業の最近3年間の業績推移 単位：百万円

	2016/12期	2017/12期	2018/12期
売上高	935	928	778
営業利益	336	276	283
当期純利益	230	184	195

(注) 当社が株式を取得した森養魚場は、株式会社森養魚場（分割会社）が2019年3月1日に設立した会社であるため、最近3年間の確定した業績はございません。当社がデュー・ディリジェンスをおこなった結果として作成した鮎養殖事業の最近3年間の業績推移を記載しております。

商品、設備等

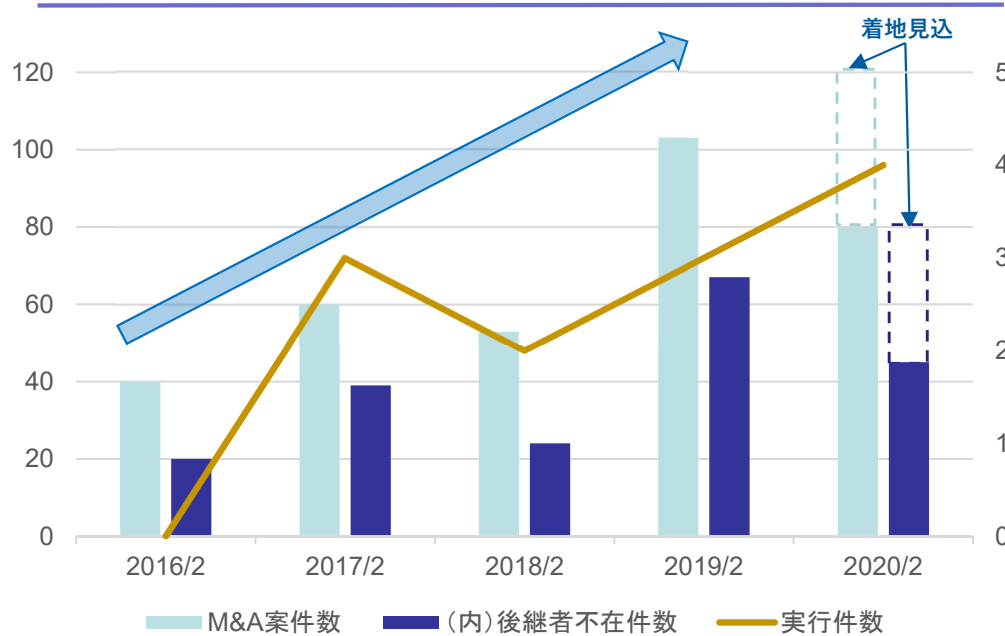


岐阜県内3カ所に養魚場を構え、高い養殖技術と「清流の国ぎふ」の豊富な地下水を活かしながら、技術者により管理された大規模養殖設備の中で高品質な鮎を養殖・販売。

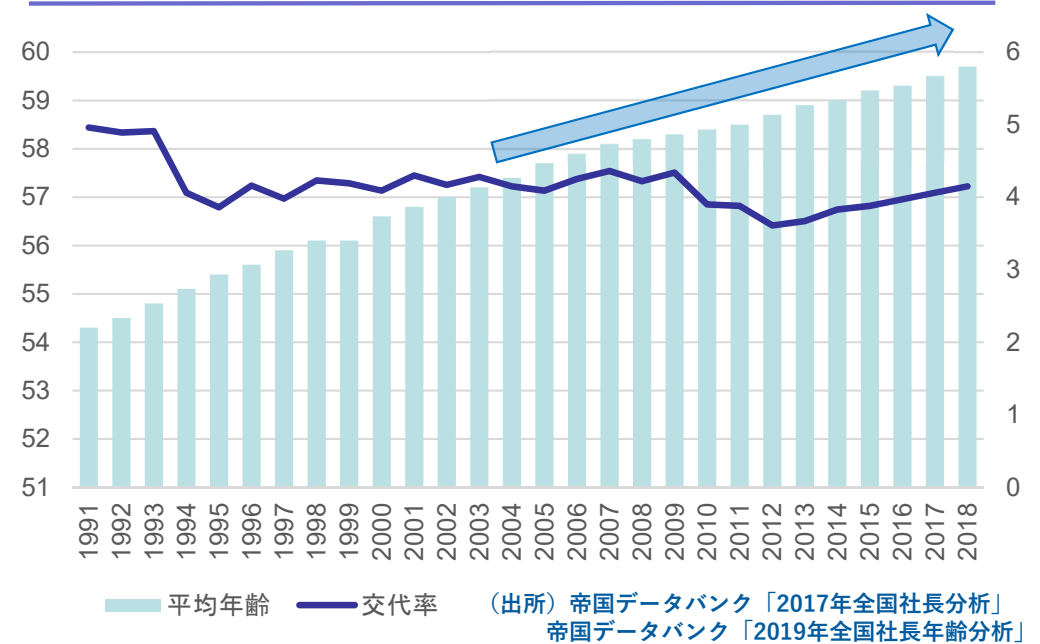
IV. 事業戦略

①国内M&Aによる拡大

国内M&A案件数の推移



全国社長の平均年齢及び交代率の推移



当社のM&Aの現状

- M & A案件数の増加
 - ✓ 当社が検討するM & A案件数は増加傾向
⇒前期（2019年2月期）は100件を超える紹介有り
 - ✓ 中でも後継者不在案件の割合が増加
- M & A案件増加要因
 - ✓ 事業承継問題をかかえた中小企業の増加
 - ✓ 当社が上場したことによる知名度向上

事業承継問題の現状

- 中小企業経営者の高齢化
 - ✓ 2018年の社長の平均年齢は59.7歳と過去最高を更新
 - ✓ 足元社長交代率は4%程度と低位で推移
- 中小企業の廃業件数の増加
 - ✓ 2018年の中小企業の休業・廃業件数は4万6724件と、
2007年の約2万1000件から大幅増加（東京商工リサーチより）

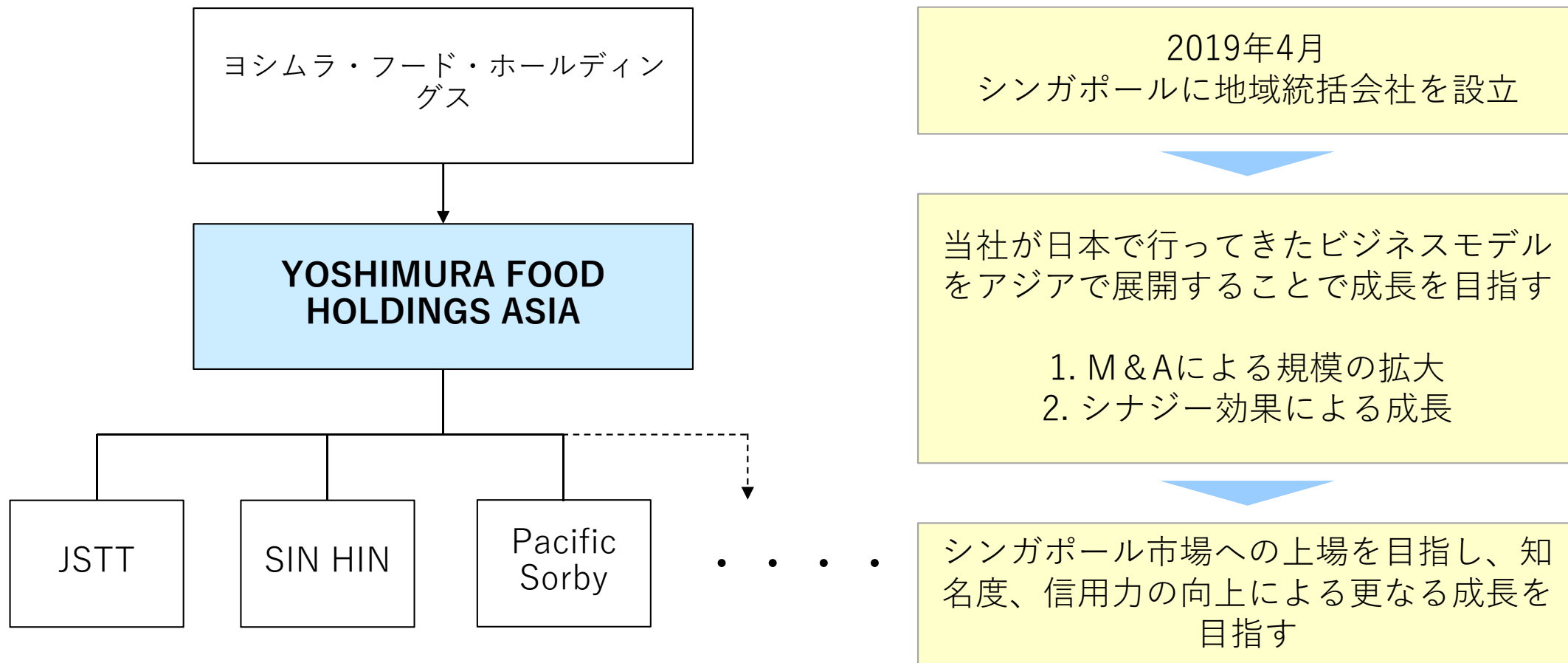
②海外事業の拡大_海外事業の状況

- シンガポールにおいてJSTT、SIN HIN及びPacific Sorbyの3社を譲り受け、アジア地域における事業を拡大中
- 海外グループ会社の販路を活用し、日本の食品を海外へ

	<u>JSTT SINGAPORE</u>	<u>SIN HIN FROZEN FOOD</u>	<u>PACIFIC SORBY</u>
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ✓ シンガポール大手スーパーの寿司コーナーにて、自社工場で製造する寿司やおにぎりの販売及び日本製品の輸入販売 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ アジア各地の有力な仕入先より高品質な冷凍水産品を仕入れ、シンガポール国内及びアジア各国の卸業者、小売業者、飲食店等へ販売 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 冷凍水産品や鮮魚を仕入れ、自社にて加工もしくは卸売にてシンガポールの高級ホテルや病院等へ販売
業績トピックス	<ul style="list-style-type: none"> ✓ SIN HINより紹介を受けた新規販売先との取引を開始、他にも新規取引先をグループの販路を使い開拓中 ✓ ゼリー、ピーナッツバター、日本酒等国内グループ企業の商品を寿司コーナーで販売、及びいくらやカキフライ、日本酒を自社飲食店にて使用 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ シンガポール国内への販売が好調 ✓ シンガポールの大手中スーパー、日系スーパー、大手パン屋等へ純和食品のゼリーを販売 ✓ SIN HINのシンガポール国外のネットワークを活用し、グループ企業商品を提案中 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ SIN HINの販売先数社に対し、PACIFIC SORBYの加工済み商品を販売開始 ✓ 受注増加に対応するため、工場を移転・拡張し、加工能力を増加予定
販売商品	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 純和食品（ゼリー）、桜顔酒造（日本酒）、おむすびころりん（ふりかけ）、ヤマニ野口水産（いくら）、オーブン（カキフライ）ダイショウ（ピーナッツバター） 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 純和食品（ゼリー）、オーブン（カキフライ） 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ JSTTの寿司、カキフライ、日本酒等を提案中

③海外事業の拡大_SG地域統括会社設立

シンガポールに地域統括会社を設立、シンガポールを拠点として、アジア地域でのさらなる事業拡大を目指す



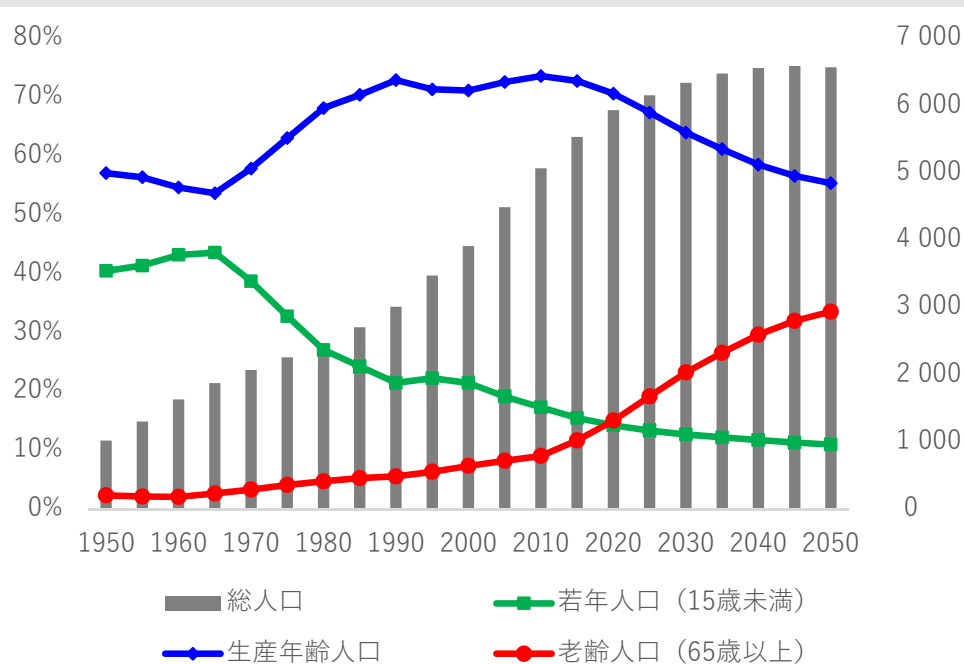
④海外事業の拡大_M&Aによる成長

シンガポールでも、後継者不在によるM&Aニーズの高まりが予想される

シンガポールでは、2015年以降高齢化が加速する見通し。一方で生産年齢人口は減少が予測されており、後継者不在によるM&Aニーズの高まりが予想される。

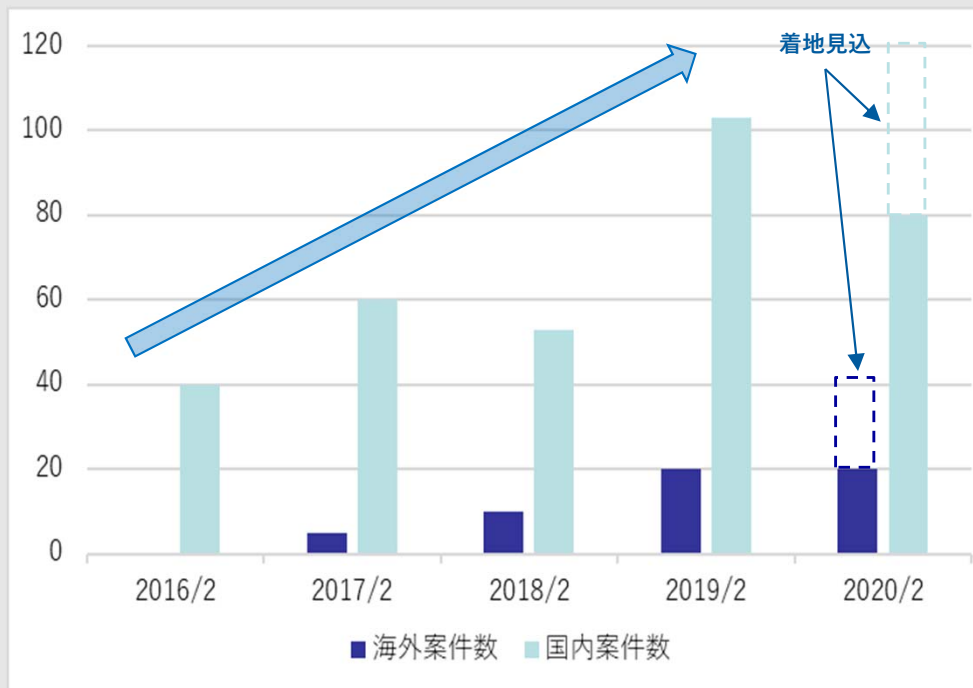
当社においても、海外企業へのクロスボーダー案件数は増加傾向。高齢化の進行もさることながら、直近のM&A実績により、当社の積極的な取組姿勢が評価されている。

シンガポールの人口予測、年齢別構成推移



【注】若年人口は15歳未満、生産年齢人口は15歳以上65歳未満、老齢人口は65歳以上。
 【資料】「World Population Prospects : The 2017 Revision」(国連)から作成、Zero-migration推計。

M&A案件数の推移 (国内・海外別)



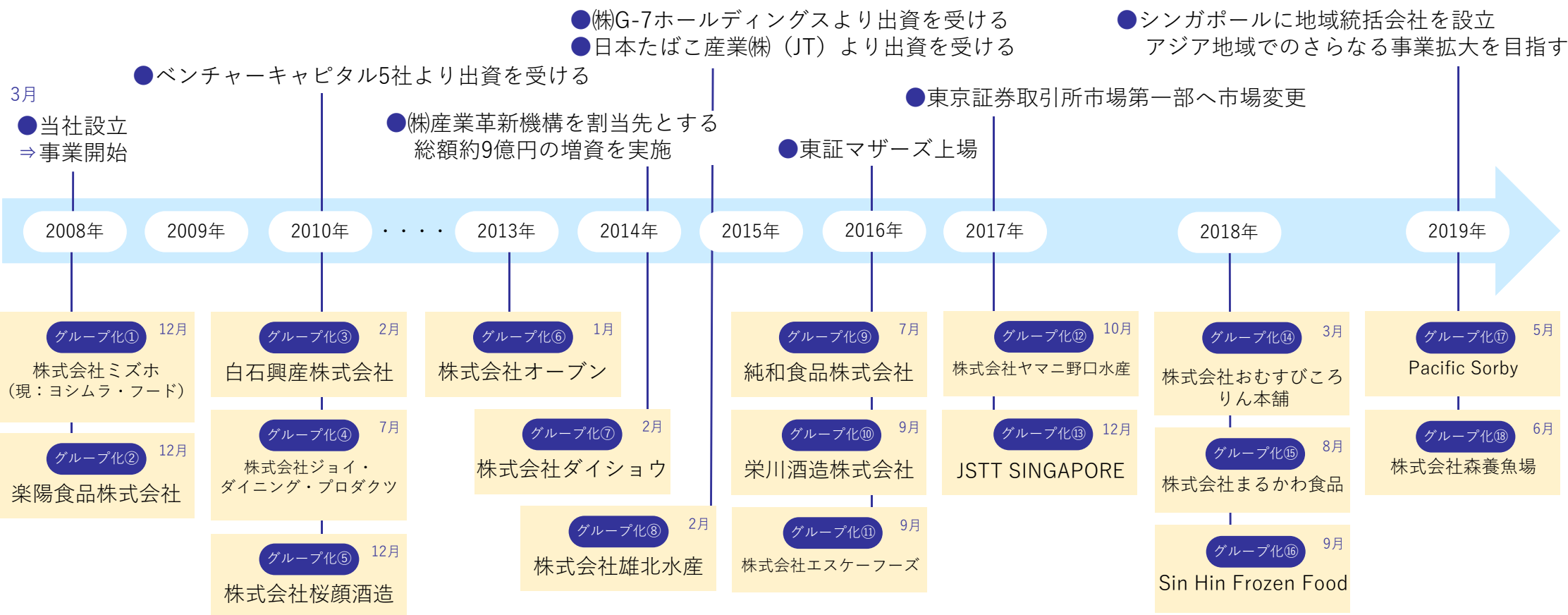
V. Appendix

社名	株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス
設立	2008年3月18日
代表者	代表取締役CEO 吉村 元久 代表取締役COO 北堀 孝男
本社	東京都千代田区内幸町2-2-2 富国生命ビル18階
資本金	503百万円 (2019年2月末現在)
主要株主	吉村元久 40%、日本たばこ産業(株) 4%、他
連結業績	売上高：23,716百万円 (2019年2月期)
従業員数	連結：1,019人 単体： 20人 (ともに、2019年2月現在)
事業内容	食品関連会社の株式を保有する持ち株会社。 子会社において各種食品の製造・販売。
グループ会社	主要連結子会社：18社
市場	東証1部 (2884)

代表取締役CEO 吉村 元久 プロフィール

出身地	北海道函館市
最終学歴	1988年3月 一橋大学商学部卒業 金融論専攻 1994年6月 ペンシルバニア大学大学院ウォートン校卒業 ファイナンス専攻 (MBA)
職歴	1988年 4月 大和証券株式会社入社 事業法人部 上場企業の資金調達業務 1996年 7月 同社 資産証券部 課長代理 資産の証券化業務 1997年 10月 モルガン・スタンレー証券株式会社入社 事業法人部 エグゼクティブディレクター コーポレートファイナンス業務 2008年 3月 株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス 代表取締役 (現任)

当社の歩みは、中小食品企業のM&Aと 当社ビジネスモデルへの共感企業からの出資の歴史



製造事業セグメント

販売事業セグメント

楽陽食品



シウマイ・餃子

- 国内5か所に工場
- チルドシウマイの生産量は国内トップシェア

桜顔酒造



日本酒

- 昭和48年岩手県の地場の酒蔵10社で設立
- 県内出荷量2位

純和食品



ゼリー

- 高い技術力と彩の国 HACCPに認定された高い品質管理能力


ヤマニ野口水産



水産加工品

- 鮭とばやいくら醤油漬け等北海道の新鮮な原料を使用した水産品を製造

まるかわ食品



ぎょうざ

- 静岡において、秘伝のレシピによるぎょうざを製造
- 自社店舗には行列が絶えない人気店

ヨシムラ・フード



業務用惣菜

- 業務用食材の企画・販売が主、自社で物流を持たず、販売先へ直送するビジネスモデルを構築

ダイショウ



ピーナッツバター

- ピーナッツバターのパイオニアで、主力商品は30年以上続くロングセラー


オーブン



冷凍かきフライ

- 広島産カキを調達する独自ルートを保有
- 鶏なんこつのから揚げ等も製造


栄川酒造



日本酒

- 業歴約150年の会津の酒蔵、「栄四郎」は全国新酒鑑評会 金賞を受賞

JSTT SINGAPORE



寿司

- シンガポールの工場にて寿司等を製造し、シンポール大スーパーへ販売


PACIFIC SORBY



水産加工品

- シンガポールの主要なホテルに対し、自社加工した冷凍ロブスター、カニなどを販売

ジョイ・ダイニング・プロダクツ



宅配等

- 冷凍食品の企画・販売
- 全国の生活協同組合と直接窓口を保有

白石興産



乾 麺

- 創業130年
- 宮城県白石市特産の白石温麺が主力商品

雄北水産



まぐろ加工品

- 船凍品のまぐろのみを使用した、ねぎとろ、まぐろ切り落としを製造販売

エスケーフーズ



とんかつ

- 「彩の国優良ブランド」に認証された「むさし野とんかつ」が主力商品


おむすびころりん本舗



フリーズドライ

- フリーズドライ加工、フリーズドライ製品の製造、非常食の販売

森養魚場



鮎 (アユ)

- 岐阜県内3カ所において、高品質な鮎を養殖、販売
- 高度な養殖技術を有し、子持ち鮎の安定生産が可能

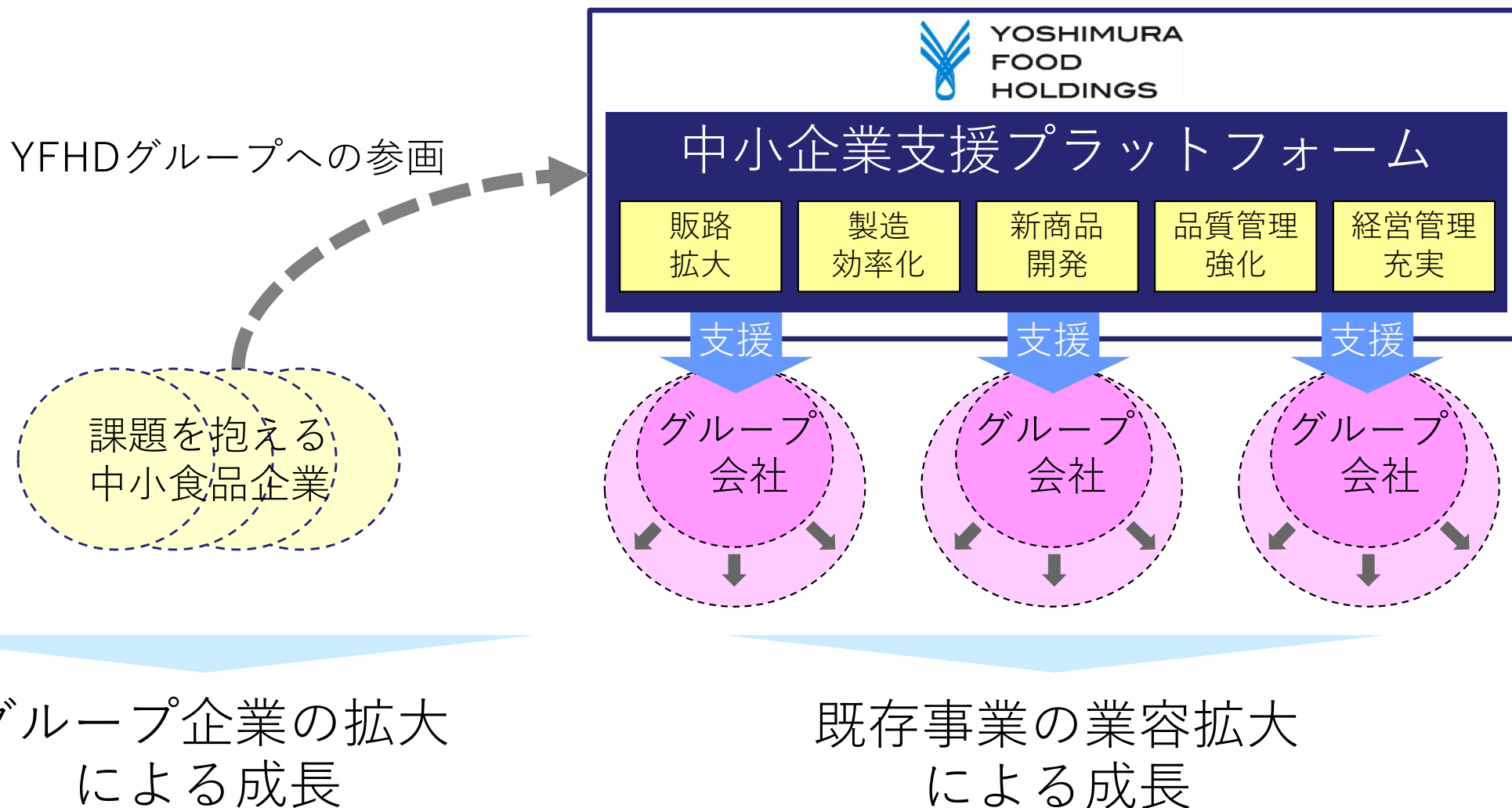
SIN HIN FROZEN FOOD



水産品卸

- シンガポールの水産品卸
- 主力商品は、エビ、ホタテ、カニ等

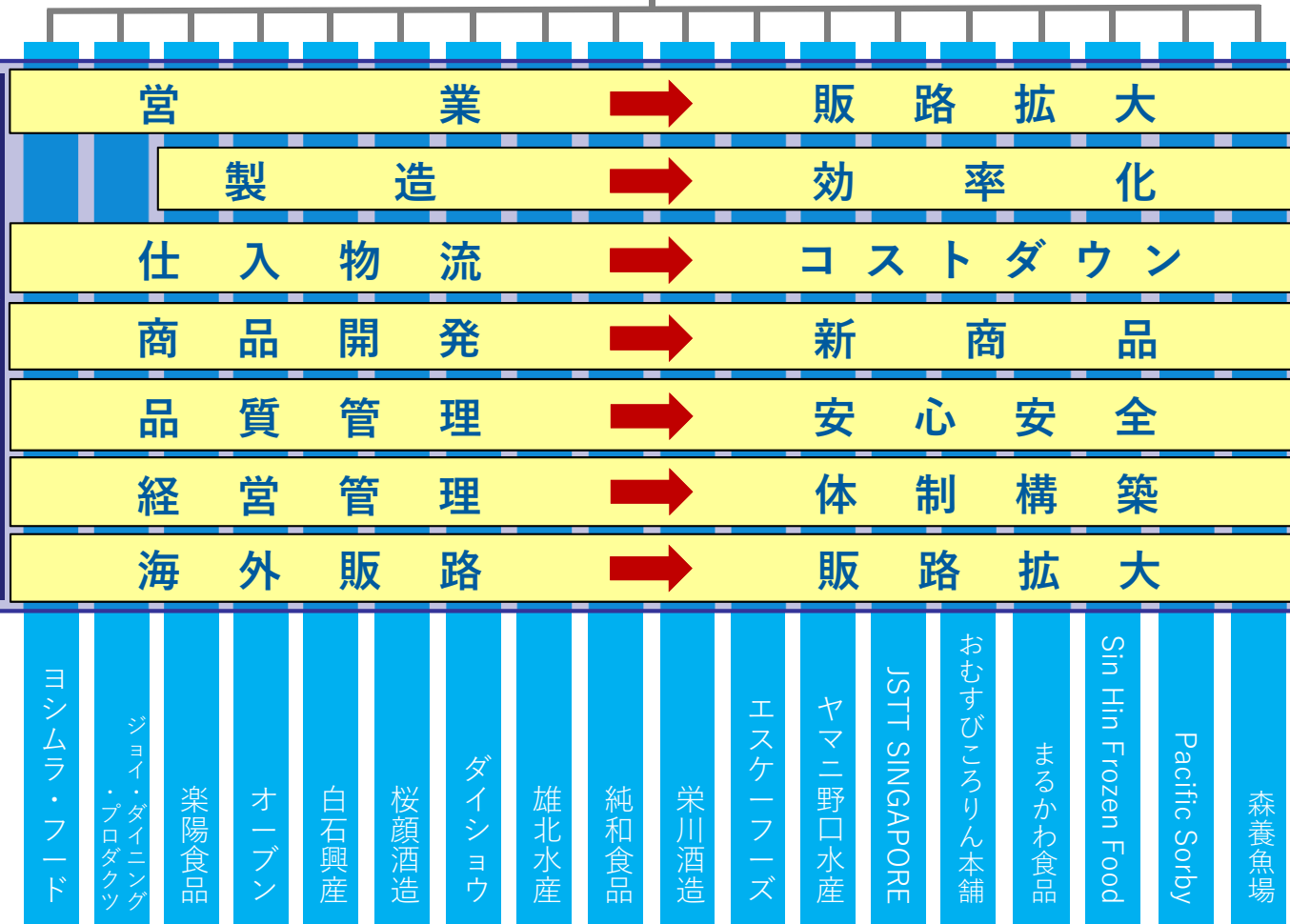
食品業界においてユニークなビジネスモデルにより、 当社は2つの成長エンジンを有する



グループ会社を「機能別に統括」することで「相互補完・相互成長」を図る仕組み

統括

ヨシムラ・フード・ホールディングス



グループ会社の有機的な相互補完関係

会社の壁を越えて機能ごとに横断的組織を構築

グループで最もノウハウをもった人材が統括責任者となりグループ横断的に統括

各社の持つ強みをグループ全体で共有し弱みを補い合う